

## 第1回 甲斐市市の木市の花選考委員会会議録

### 1 日 時

平成25年11月14日（木） 13時30分～15時00分

### 2 場 所

竜王北部公民館 3階 視聴覚教室

### 3 委員会次第

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付
- (3) 市長あいさつ
- (4) 部長あいさつ及び職員紹介
- (5) 選考委員会の概要
- (6) 委員長・副委員長の選任
- (7) 選考の説明
  - ①市の木市の花選考基準について
  - ②選考スケジュールについて
  - ③選考作業内容について
- (8) その他
- (9) 閉会

### 4 出欠席者

- (1) 出席委員（10人／10人）
- (2) 事務局 保坂市長、小田切企画政策部長、有泉秘書政策課長  
総合政策係（長田係長、小澤主査、古屋主任）
- (3) 欠席委員 なし

### 5 委員長・副委員長の選任

委員長：三井兵部委員  
副委員長：渡辺ひさ子委員

### 6 主な質疑

委員：他の市町の木・花と重なるのは避けた方が良いのか？

事務局：甲斐市独自の木花があれば出していただきたい。他の市町と重なることもやぶさかではないが、できれば甲斐市独自の木花があれば良い。

委員：木・花に投票した理由も説明するのか。

事務局：投票理由もその場で発表していただきたい。投票理由を踏まえたうえで、投票された種から判定基準に基づき、絞込みを行う。投票用紙には理由を書く欄も

あるので、それを読んでいただきたい。

委員：理由は難しいことでなくて、「私が好きだから」「昔から甲斐市にある」等の簡単なものでも良いと思う。

委員：投票数だけでなく、選考委員で協議して決めた方がよいのではないかな。

委員：選考委員全員が、名前だけで木や花のイメージがわかるだろうか。

委員：花は何万種もの種があるが郷土に関係ある種となると限られてくる。昔からの植生を重視するか、新たな園芸種から考えるべきか、選考委員の協議によって決めるべき。

委員：例えば「マツ」とすれば、「アカマツ」も「クロマツ」も含めることになるが、種というのはどこまで限定するのか。

委員：難しいことを意わずに総称で決めればよいのではないかな。山梨県の木は「カエデ」となっているが実際は写真などでは「イロハモミジ」が紹介されており、「イロハモミジ」という認識になっている。

委員：県内でも「サクラ」と総称にしている自治体もあれば、「八重桜」と限定している自治体もある。あまり大雑把だとぼやけてしまう。

委員：市民の心のよりどころとするなら、甲斐市のここで見たとか、あそこにあるなど、心が引かれた場所など含めて選べば共感が得られる。

委員：市では、盛り上げたいイメージの木花はあるのか。中央市のれんげまつりのようにお祭りに繋がるかもしれないし、歴史文化だけで追いかけるのではなく、新しいものを作っていきたい。

事務局：判定項目も「甲斐市のイメージ」「歴史」「未来」など多岐にわたっている。色々な考えがあって良いので、まずは自分の考えを出していただきたい。最初からトータル的に考えるのではなく、自分の考える木花を出していただきたい。

委員：将来のイメージも考える必要があるので、選考委員の協議の中で決めたい。

委員：花に関してはよくわからないので、投票するときに資料として写真などをつけてもらえればイメージがわきやすい。

委員：インターネットで検索すれば、すぐに調べることができる。会議室にプロジェクターで写すことは可能か。時期の問題もあり写真を用意できない場合もあると思われる。

事務局：植物図鑑など用意できるものは事務局でも用意する。委員さんで添付できる資料があれば頂きたい。

委員：「サクラ」のように総称ではなく「ソメイヨシノ」のように限定すれば、他の自治体で「サクラ」を採用していて重なっても問題ないのではないかな。

事務局：良いと思います。

事務局：甲斐市は緑化運動をしているので、甲斐市の気候風土になじみ、花の苗を配ったときに広く育ててもらえるか、という点も考慮して欲しい。

事務局：投票方法について予定を変更して、選考委員会前に郵送などで投票をいただき、事務局で集計をしたいと思います。

委員：「ヤマザクラ、ヤマモミジ」は甲斐市には自生していないものなので、ふさわしく無いと思う。

委員：花について、今は一般的に植えられているが、元々は無かったものも多いのではないか。

委員：木については、自然に基づいたものがよい。花については園芸種など多くの種が入ってきており、これから増やしたい花を選んでも良いのではないか。

委員：皆が元々の植生などわかるわけでは無いとは思っているので、最初は自由にイメージで投票してもらい、植生などは会議で指摘してもらいたい。

事務局：最初は自由に投票・討議していただきたい。

委員：在来種にしぼると誘導する形になるので、まずは自由に討議したい。

以 上